

## コース 39 むしくらやま 虫倉山

リーダー CL K/T SL M/T  
 実施日 平成26年 11月 8日(土) 天候 晴れ  
 参加者 24人 (男性 5 女性 19)  
 グレード B上~C  
 コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前	—	5:43	米山 SA、小布施 PA で靴履き替え
長野 IC	8:50	—	北信五岳他山々よく見える
不動沢コース登山口	9:55	10:20	452号、401号經由道は狭隘で悪路
高福寺分岐	11:05	11:10	急斜面だがジグザグで登りやすい
休憩舎	11:20	11:25	カラマツの黄葉越しに後立山連峰
虫倉山山頂	11:40	12:40	立派な山頂標柱、方位盤、無料望遠鏡
高福寺分岐	13:25		k女の誕生日をお祝いして下山
登山口・丸山公園	14:15	14:40	雑草のない林床と冬枯れの樹林
長野 IC	—	15:45	小布施のハイウェイオアシスの池と紅葉
新津駅西口	19:00	—	区役所→西口

### 山行等概要 (幹事のコメント)

- 虫倉山 1378mは360° 眺望の山で、これと似た山に一夜山 1562mがある。どちらも長野市から白馬村へ抜ける途中にあって、1時間から2時間くらいで頂上に立つことができる手軽な山となっている。
- 虫倉山の方は200位低いのに眺望の広がりとスケールの大きさは、はるかに優っている。
- この山にはまだ降雪がなくて、アルプスなどが雪山となり、空気も冷た



虫倉山山頂 1,2班の皆さん  
 信州百名山、1378m 長野市の西部、中条地区

くて澄み渡るこの時期を選んだのが正にドンピシャリ、ほぼ最高の条件の時期に山頂に立つことができた。



虫倉山頂より、北アルプスを望む。  
向かって左、爺ヶ岳、右方の双耳峰は鹿島槍ヶ岳

連峰、高妻、妙高、黒姫、飯綱、東に志賀の山々、四阿、浅間、北から南にかけて白馬三山から常念へかけての後立山連峰の峰々が一つ一つくっきりと見える。さらにその背後に槍、穂高、南はるかに八ヶ岳連峰、その先に富士山(?)と見まがう山までみえた。

- まさに“至福のひととき”とは、この山頂での憩いのひとときを言うのであろうか。

- 途中の山道も歩きやすく、まだ若干紅黄葉の残る晩秋の枯れた樹林、越後の藪山とは違って濃淡のある茶色の落ち葉を敷き詰めた林床や青笹に覆われた斜面のコントラストの美しさ、頂上手前の左右切れ落ちたヤセ尾根も変化をつけていた。

- 山頂に数組先着していた地元の人  
の言うには、「この山に 1 回目に来て、今日のような眺望に会えるのはラッキーだ。」とのこと。その眺望は、北に戸隠

## 「虫倉山」山行に参加して

(1631) F/T

行きのバスの中で心配された天気は、長野の山道に入りどんどんと山奥へと細道をバスで登っていくにつれ嬉しいことに回復していきました。秋色に染まった丘陵に絵や写真で見たことのあるような段々畑や集落があり、遠くの山は雪で白く輝いていました。到着する前から、十分に山旅を満喫したような気分させてくれるほどの景色をバスの窓から見て気持ちも晴れ高まってきました。



### 虫倉山山頂 3,4 班の皆さん

この日、小林シゲさんの誕生日であったとのこと。

めて眺める景色と皆さんの和気あいあいとした会話を楽しみながら山頂へと歩きました。

山頂へ着くと「すごーい!!」「すばらしい!!」と皆さんの歓声が上がりました。北アルプスをはじめ、富士山(?)やハケ岳(?)や新潟の山々、うっすらと霞んで水墨画のように折り重なる山々の360°の展望が広がり、しっかりと目に焼き付けて帰ろうという思いでいっぱいでした。

この日に虫倉山に登り、この絶景を見ることができたことを幸せに思い、改めて今年新津ハイキングクラブに入会してよかったと思いました。今回で4回目の参加となりましたが、毎回ハイキングクラブの皆様との山旅は、花の名前、ハイキングのテクニク・知識など、たくさんのお話を教えてもらい楽しい思い出となります。心豊かにしてくれる貴重な時間で、皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

駐車場に着き、準備を整え歩き始めて直ぐに不動滝があり、水の音に気持ちも清められた思いで山登りが始まりました。

岩場、浮き石、細い尾根道、鎖場、落ち葉の積もった下にある石ころなどに足を取られないように注意し、気持ちを引き締め山頂をめざしました。登り続きの山頂への道のりに息も上がりましたが、サクサクと落ち葉を踏みしめる音と途中で足を止